

KODAK COLOR CONDITIONALITIES

LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

A 1

2

3

4

5

6

M 8

9

10

11

12

13

14

15

B 17

18

19

蘭國海陸遠遊記

ル 3

1184

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

東海道五十三次

日本橋より二里

おたけん 九十日又
うし尻 六十一又
人足 四十七又

大徳寺南徳寺西徳寺

日本橋より十三里

右の方浄域りみち

左のこらげりみち

又右方橋より二里

○中橋より一里

橋合下。京橋より

十三里。新橋京橋

八丁右小寺橋あり

ごりみち。源徳橋

○今由川橋合下

本宿路六十九次

日本橋より二里

のりおけ 九十日又
うし尻 六十一又
明如 一 東海路

○日本橋より九里

浄域のこらげりみち

橋と渡りて右に

所なり。今由川

うし尻。宝所

十里。白張所

今由川橋より

田のり相所から

る所。新石所

所通りと出て

とらり。浄門

と考へ者毎年

の祖徳と本

小島園の橋

あり。又

念と

増上寺後

園上上人

浄土宗

寺あり。全

川橋より

全橋より

てあり。引

是より。元

は不美田

右は三月

右の方

不考と云

是今年所

と云を

浄土宗

湯島の天

へり。たり

うし尻。坂

に新田明

い。ゆ。橋

湯島より

りたり。再

寺あり。今

森川。道

ゆ。け。の

遊。遊。日

たり。たり

ゆ。たり

小。白。橋

。右。の。月

深井。も

も。ゆ。り

小。ゆ。り

序所なりは海を
阿まうらことて
又これとあり右
以象慈寺勢洞宗
江戸三ヶ寺之妙に
浅路内以成長十
六人乃養在以此
大はくはと云ん海
堂のあり。若子堂
うう若人堂も海
工程林と頼くけり
寺あり東程寺とい
妙を流の江戸三ヶ
之い道三ヶりとい
やつ山。新所小川
乃入り。たりに
この小社あり。い浦
浦と云。系紙法師
やうゆらうらゆの
煙名ありとあり

鴨所九小ぢぢう
是江戸入にく小
六地蔵。とがと
知く八板橋とた右
細く九小道と左
若赤坂色(小小道
迎くいさうしや
ごらくド教多坊
あり。板橋和ら
あつた小一里坊
有。平尾と云い
けつてさくは入
た小川さうあり
ちねもゆたり
板橋。二里十町
のうけの五廻
うらまはと云
宿中に橋あり
王子渡。岩紙出

小川 二里

るりはむをれ浦人
本百才又 切や
う七十文 指あり
人ふて又 指あり
下り有て又う七文
右ノ東海寺あり
殿心。小川寺あり
堂へ。妙圃と海島
るりみちの名あり
。数湖。伊仁屋場。
新小川石と云石あり
い色分況上か門ちん
や。八ヶ村。大森
和や。あうら家あり
。石地蔵。いさう。東
祓。天祥。あかま。南
くむ。さうあま

て小坂。をを海村
。あつた村。清あり
。中田のうら
川水場小い志村
川さうとてあり
ます。いさう。八
測あり。いさう。い
み板が。いさう。余
。入川。いさう
。えわ。いさう。い
い。野原あり

款。一里八丁
浦。いさう。い
か。いさう。い
。いさう。い
村。いさう。い
。岩村。いさう。い
。本林。いさう。い
宮。いさう。い

八丁の八丁人々
六丁の方で稲
毛と玄米の天橋

武家の外にありん
十文の川玉川と云
六丁の方で六丁の
右の方にありん

川 二里半
神奈川へ
八丁の方
人々

下りなるて
六丁の方
七丁の方
八丁の方



白地の山
所が
本
二丁の方
三丁の方
四丁の方
五丁の方
六丁の方
七丁の方
八丁の方

一里
二丁の方
三丁の方
四丁の方

五丁の方
六丁の方
七丁の方
八丁の方

九丁の方
十丁の方
十一丁の方
十二丁の方

十三丁の方
十四丁の方
十五丁の方
十六丁の方

大宮
二里八町
三丁の方
四丁の方

五丁の方
六丁の方
七丁の方
八丁の方

九丁の方
十丁の方
十一丁の方
十二丁の方

十三丁の方
十四丁の方
十五丁の方
十六丁の方

十七丁の方
十八丁の方
十九丁の方
二十丁の方

右乃中よりうらたが
つらりりなるの観
者あり

うら川がイニ一里
程がイニ一里
新所イニ大云

本甲イニ五又
三又イニ五
人イニ五又

中りイニ五又
かざりイニ五又
海イニ五又

那乃イニ五又
小敷イニ五又
二ツイニ五又

遊紅イニ五又
於家イニ五又
於家イニ五又

わりイニ五又
む是イニ五又
おイニ五又

大心イニ五又
うぬイニ五又
○イニ五又

秘イニ五又
二里イニ五又
本イニ五又

うイニ五又
人イニ五又
本イニ五又

○イニ五又
有イニ五又
○イニ五又

坂イニ五又
ちイニ五又
はイニ五又

さイニ五又
けイニ五又
○イニ五又

村イニ五又
代イニ五又
○イニ五又

代イニ五又
○イニ五又

九イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

村イニ五又
九イニ五又
林イニ五又

桶川イニ五又
かイニ五又
かイニ五又

○イニ五又
云イニ五又
岩イニ五又

新田イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

たイニ五又
村イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
田イニ五又
○イニ五又

湯イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
勝イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
○イニ五又
○イニ五又

○イニ五又
○イニ五又

○引づちのむらう。○山崎
茶や者あま。○大正一
たありたのふふいの
池。○小正。○ち
う。○十石坂。○ち
○まら。○み。○み。○ま
○。○か。○か。○か。○か
武家乃外。○あ。○あ。○あ
ゆ。○い。○川。○い。○川。○い
水上甲。○あ。○あ。○あ。○あ
さ。○さ。○さ。○さ。○さ。○さ
が。○が。○が。○が。○が。○が
物。○の。○の。○の。○の。○の。○の
と。○と。○と。○と。○と。○と
あ。○あ。○あ。○あ。○あ。○あ
若。○若。○若。○若。○若。○若
て。○と。○と。○と。○と。○と
を。○を。○を。○を。○を。○を

源。○源。○源。○源。○源。○源
か。○か。○か。○か。○か。○か
か。○か。○か。○か。○か。○か
う。○う。○う。○う。○う。○う
○。○の。○の。○の。○の。○の。○の
○。○は。○は。○は。○は。○は。○は
余。○余。○余。○余。○余。○余
忠。○忠。○忠。○忠。○忠。○忠
小。○小。○小。○小。○小。○小
源。○源。○源。○源。○源。○源
あ。○あ。○あ。○あ。○あ。○あ
墓。○墓。○墓。○墓。○墓。○墓
墨。○墨。○墨。○墨。○墨。○墨
何。○何。○何。○何。○何。○何
わ。○わ。○わ。○わ。○わ。○わ
あ。○あ。○あ。○あ。○あ。○あ
細。○細。○細。○細。○細。○細
小。○小。○小。○小。○小。○小
村。○村。○村。○村。○村。○村
ま。○ま。○ま。○ま。○ま。○ま
ま。○ま。○ま。○ま。○ま。○ま

と。○と。○と。○と。○と。○と
い。○い。○い。○い。○い。○い
と。○と。○と。○と。○と。○と
あ。○あ。○あ。○あ。○あ。○あ
と。○と。○と。○と。○と。○と
が。○が。○が。○が。○が。○が
と。○と。○と。○と。○と。○と
白。○白。○白。○白。○白。○白
と。○と。○と。○と。○と。○と
情。○情。○情。○情。○情。○情
は。○は。○は。○は。○は。○は
道。○道。○道。○道。○道。○道
々。○々。○々。○々。○々。○々

村。○村。○村。○村。○村。○村
し。○し。○し。○し。○し。○し
と。○と。○と。○と。○と。○と
い。○い。○い。○い。○い。○い
寺。○寺。○寺。○寺。○寺。○寺
名。○名。○名。○名。○名。○名
又。○又。○又。○又。○又。○又
本。○本。○本。○本。○本。○本
名。○名。○名。○名。○名。○名
七。○七。○七。○七。○七。○七
と。○と。○と。○と。○と。○と
と。○と。○と。○と。○と。○と

〇おのきせしむ皆村と
云はれおれおれと云ふ
かたの村。うらも
村。若乃本村。うらも
川。若乃本村。うらも
川。天正年中。水
川。たさく。水。と。水。糸
成。康。と。成。ま。り。本。村。

新所 一里半
くさのへ 一里半
かひのへ 一里半
かひのへ 一里半

〇武村。砂原。新田。川
あり。〇甲の徳村。川
あり。〇乙の徳村。川
あり。〇丙の徳村。川
あり。〇丁の徳村。川
あり。〇戊の徳村。川
あり。〇己の徳村。川
あり。〇庚の徳村。川
あり。〇辛の徳村。川
あり。〇壬の徳村。川
あり。〇癸の徳村。川
あり。

神代郡 神代郡 神代郡 神代郡

大いそが 四里
小田原 一里
かひのへ 一里半

〇鴨立 一里
かひのへ 一里半
かひのへ 一里半
かひのへ 一里半

〇鴨立 一里
かひのへ 一里半
かひのへ 一里半
かひのへ 一里半

○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく

○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり

○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく
○ちゆくち度ごらく

○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり
○高川村あり

あつらひの里
箱根へ八町

か四百廿八文 同中

く二百廿五文 同中
人二百廿八文 二回高

下りか四百廿九文 三百廿五文

右の方入り小田系

陳の町乃らん市町所

乃田小系より入程あり

所よりれど地蔵堂あり

町より右へ城あり

城より大又係あり

拾万石あり乃らん

らうねありあり

海つりたふ松あり

さうらう松の林あり

乃らん大岡の跡あり

の小田系あり

さうらう松あり

ゆりくのりあり

やぶのゆり入湯あり

さうらう松あり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりくのりあり

ゆりあきあけの里
とてゆりあきあけの里

より二乃まゝも二り

松井田町 二里

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

坂あり

三ノ人等集うるの切也
 あり申すもあさむら
 切こゝろを十番切
 乃雨うち命あか
 赤まねささるるり
 何さやかぬげをこ
 らいあやうり波
 竹ひしとほるこいさ
 ともいすけつねお根
 一見の時とさむねお
 くとくをさるるこ
 かとくめてささるこ

一秋光の玉ニツ
 一釣の角ニツ長ニ寸五分
 一九元れ貝ニツ
 一まろこ 一ツ
 一牛乃玉ニツ寸五分
 一森の玉ニツ寸五分
 一天の羽衣
 一秋光の玉のりしり

いろ平甚のふら
 た右跡系〇はるれ
 小新田村下は村大さ
 よりとささかゆと石
 ちの目よふるる
 浜村皆掛乃入り
 坂方をささあむま
 みる理系ふらさる

〇あまうーいをか
 中てふ跡系流さる
 けあさるるまげん
 ろるあさむら。あさ
 山のゆりゆきさる
 赤い道さやのあま
 〇松人のくけさるる
 〇大母人あさる

一犬師まてうれつり
 一河宗日まのあ
 〇まゆ

夜ふ深火忽消き身
 男秘伝あ方ああ
 了り南陽を修得し
 東福寺方丈

名根ちの寺あうい東
 福ち院あうい金剛寺
 乙名うい名根ふ〇さ
 のうわ〇せうが修得
 入りし法園あ方ら
 女根ちる小田系協
 より勤王の女人
 と武具あは法修文
 かくそいあを修得し
 ぶる名は主人のふ
 或い雨のあ名あ
 物あしてあさ〇ニ
 〇新やもこい入ら



近分が一り字
 かさといい
 〇四十九又四や
 〇は西系ふら強道
 乃あつてけいあ
 るふの林ゆやけ
 乃のあ方けい



三郷人 廿八町
 本四百七十五石
 多二百七十五石
 人二百七十五石
 下り二百七十五石
 〇此所より南へ
 〇此所より北へ

業平
 〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ
 〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ

〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ

〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ
 〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ

小田井 廿七町
 〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ
 〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ

〇此所の南へ
 〇此所の北へ
 〇此所の東へ
 〇此所の西へ

○今丹坂あとの社
あり。のうらうら。○三
入り。小橋あり

三ノ海子 一ノ字
浪 沖ノ

○下りなせしむる。四千ハス
人ニナハス。世々
く四ナハス。世々
カハハス。同ヤ

○流取たの方より右
の方の社乃中。ち方
三丁。ち方の。ち方
川。ち方は。明社の候
若くせん。うら。ち方
○ふ。費。ち方。ち方
右の方より。いづれ水
す。ち方。ち方。ち方
が。所。新。若。い。ち方。ち方
期。あ。ち方。ち方。ち方



八幡宮 廿七所

○小法。若。中。以。流。れ
方。下。系。は。ち。方。ち
と。細。ち。方。塚。ち。方。ち。方

○今丹坂あとの社
あり。のうらうら。○三
入り。小橋あり

三ノ海子 一ノ字
浪 沖ノ

○下りなせしむる。四千ハス
人ニナハス。世々
く四ナハス。世々
カハハス。同ヤ

○流取たの方より右
の方の社乃中。ち方
三丁。ち方の。ち方
川。ち方は。明社の候
若くせん。うら。ち方
○ふ。費。ち方。ち方
右の方より。いづれ水
す。ち方。ち方。ち方
が。所。新。若。い。ち方。ち方
期。あ。ち方。ち方。ち方

○ちく。海。川。橋。あ。ち。方
廿。七。所。は。ち。方。ち。方
つ。と。ち。方。ち。方。ち。方

凡雅 唯法院

○今。世。深。村。は。ち。方。ち。方
あ。り。い。ち。方。ち。方。ち。方

八幡宮 廿二所

○百。以。村。禅。寺。あ。り。
八。幡。村。あ。り。ち。方。ち。方

○成。田。村。式。部。村。あ。り。
村。あ。り。ち。方。ち。方。ち。方

○あ。り。ち。方。ち。方。ち。方
引。ち。方。ち。方。ち。方

○あ。り。ち。方。ち。方。ち。方
引。ち。方。ち。方。ち。方

下川至千九百四十度

○三枚くー入口の所

○山形市一ノ城地

川へ渡河。ふむの松

宿をうけたの方より

若六代と切れせり

あり。五反田迄下り

ありそふと村迄さ

なり。東へぬとちよ

足さふ。小すく明林

○大とく。松永。今

次。三本松。大とく

とららる

二り半

吉多く

か百世又

くハ十世又

人古年又

下り至百世又

○あうくくちの城を

見ゆり。うきとく

たりた方にきく

あり

山形市一ノ城

あり。五反田迄

下り。東へぬと

ちよ。足さふ。小

すく明林。大とく

。松永。今次。三

本松。大とく。と

ららる。二り半

吉多く。か百世

又。くハ十世又

人古年又。下り

至百世又。あう

くくちの城を。見

ゆり。うきとく。東

海の番。今葉

全葉

東海の番。今葉

全葉

東海の番。今葉

東西世リ。但上

と一里と

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

辰土乃

叶は、十の

信三

道

西

家と云く四りめ
 さんことあつらひの
 におかりいませねと
 りへまらぬくあえ
 ぬくうてうけりお
 つまひまの我と思
 あつらひゆへにあひ
 つひひひひひひひ
 あひゆりひひひひ
 ううひひひひひひ
 其妻あねをえま
 里とやゆへひひひ
 高京。明。い。橋。富
 士の裾野はひひひ
 あひひひひひひひ
 そのづうくひひひ
 下りつが二り字
 蒲原十所
 八百五十五回や
 うり百りひひひ

里月乃水牧の路に
 せりし布引の成
 やくおこるへ
 月月のひひひ
 うりひひひひひ
 小月毛のひひひ
 八百名村のひひひ
 河原の里月録洋
 兄弟二人のひひひ
 とひひひ。新田村
 〇ひひひ村。ひひひ
 無量寺のひひひ
 あり。唐の録坂
 いひひひ坂のひひひ
 茅田の一り
 中ひひひ。五所
 八百五十五回や
 うり百りひひひ
 ありひひひ坂の
 〇是の上のひひひ

信口

人七十四人。粟乃
 八百五十五回や
 〇大の方ひひひ
 乃まらぬひひひ
 の名あひ。若平家
 乃軍兵ひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ

〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ

信口



〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ
 〇ひひひのひひひ

信口

中人系方 一里
由所へ

平田村 同
三丁又 七丁
人九二又 平七

下り高野寺より世二反
。河原右より所不
つうれ乃の神をた
蟻を敷。向田村。川
田村。あう。中村。
浜を流。せり流。林
浜は乃のたを所つた

ゆい川。さうと流
乃下してあまとも

ゆい川。さうと流
乃下してあまとも

清野
砂浜乃海の州より
一と名りしとら

本号は蘇我の海
歌仲

すの海の氷乃橋
あうゆの神をさ
てとらなりなり
大を地を比乃氷尊
三又宗冬ハ池の上
るに高島と名取ハ
東小島と名取して
河のすうり平地
のまう。まふあて
氷さるる下乃ま
より大地よりなり
ゆとくさくた云々
杭次流々所お島小
して人海をとも
よりあま後あり

ゆい川。さうと流
乃下してあまとも

ゆい川。さうと流
乃下してあまとも

○よこせらるゝいささ川
くち流り。○すきき橋
河のそめ川小くしる
ありさるる

江戸尻分 二里
ふちうへ 廿二町
本百廿二又 同中
く七十七又 次ちう
人又十又 同中

下り本百廿二又く七十七又
○所もぐしふいあり
初めり本廿九又る
かぬまげふあり
○たの方い久能あり
たありいふ乃こち
海家ふそめあり
てありあり ありは
ふあさらくやあり
くや。○うむり石乃
方ふらむが地とて

の本むら
勢川が 一里半
ありいへ 同中
本七十三又 次ちう
くは十又 同中

此面なるや成はる
乃中なるれ小川者
は。○清番新
名古や折。押四
やし木とより板橋
あり。○ささ坂あり
たの方すとの新社
○平は折い新橋
あり

本百廿二又 同中
く七十七又 次ちう
くは十又 同中
いあふのることを
竹が 松田や細

田の沖ふちいささ川
ありあり 松二
ありい ありあり
いぐらありあり
るの袖ありあり
ふんきの名あり
は。○ささ川あり
なげあり ありあり
こんのりありあり
人古の比ありあり
てうんとよふあり
よりありありあり
ありありありあり
つえいありありあり
ありありありあり
又録二年八月
月とありありあり
ありありありあり
ささ。○田乃上り
源のれありあり

多一はさ川の流れ
りく山の方ありあり
○名居新ありあり
いけありありあり
言ありありあり
ありありありあり
ありありありあり
ありありありあり



信三ノ一 104 信

公のちかくし概系
予後系附ておく
てありさんとあまふ
河のちうり子左の
みそ引つておけり
清くんがま小町り
わつていあうれ地
公のあまさうりし
とも酒とをかうり
おれ合あまなひ
のうらうらにあら
人く河の中へい
矢とわけてけり
流るけりけりけり
いさけの橋とては
合あうそのあま
とあまうりあま
うけなくとも切ぬ
がそのあまとい
んこふさし

とつきより今の平地
のやうといふお杉
あまうすといふ
河川は流るる
ゆるゆると教ふ
いふ味吹川あり
教原が 一里
文の越へ 一里
か八十二文 同や
う又十三文 六
おあし行い切
一とも切あ
是より英流乃流
合すていあ方
流り方流る
本を川流るる
流止あう大
奥ふが大本
大合あるる

おい約のむらり
くましくまふ
まてさう田乃
まののたれ
ふよのちうり
岩のあま
りうがま
ありてあり又馬
らんたる
今い
く
生
ずり
し

最ふし
あり。徳
河川大橋
小とのえ
あま同
文乃
あく
か七十七文
う又十九文
ま
い
か
ふ
ま
と
一
あ
は
こ
が

○清りて川小橋あり
 橋より六十余りて
 さいとくちえきき
 師宗虫行しちのハ
 十六カ子れ亭録不
 年死去せし時あり
 石塔あり。わしお美
 乃沃。うほのや十卷
 子とらひは西の品物
 し。神より下り十六
 町。地蔵堂あり。

○本堂乃のりんし
 ちい高ふし。ひてか
 らんねんぐんせんする
 とりて本堂は川
 なるまざる若ね十六
 乃中げん。大本と
 下りて八角本とあり
 だうも。うしと十
 城。あやう。まきん
 あり。

いせ地蔵ふるり平
 師り者。あつ。後
 下と人ああ。ね。城
 一。あ。一。は。こ。乃
 神。乃。あ。や。と。こ。く
 かん。なる。ま。の。た。の。方。へ
 乃。乃。の。ひ。る。こ。四。や
 け。村。ら。げ。う。聖。可。坊
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

法橋集
 おいさうふ。若の橋外
 くらん。うし。ち。う。若
 城。む。あ。を。れ。う。あ。は。に
 大。代。を。今。の。雨。上
 小。乃。者。そ。な。あ。う
 と。不。仲。産。ま。く。七
 十六。乃。の。う。の。う。し。こ
 川。乃。う。さ。お。ら。ん。う。ん
 あり。若。あ。あ。年。九。月。

うや村小村。横。さ。う
 村。大。ち。か。う。い。は。い。小。は。あ

す。上。の。方。に。若。ふ
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

○横らう入口の小村
 沖うい。と。ま。の。お。い。な。川

○なごや。中。以。村
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

橋長。二十。五。町。の。四
 二。あり。初。う。れ。ん。し

○二。酒。村。尖。新。屋。の
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

古橋。こ。八。横。橋。の。橋
 社。あり。鬼。傳。若。や。

○上。松。の。松。あり
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

あ。う。こ。何。い。せ。う。も
 白。子。と。と。あ。い。は。い。不

○四。二。酒。の。家。行。中
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

修。修。れ。白。子。の。人。現
 修。更。り。あ。り。台。若。や

○工。松。が。十。町。の。若。あり
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

者。右。の。方。小。理。が
 測。あり。平。橋。は。田。中

○知。の。と。と。村。若。若。あり
 あり。清。り。も。あ。り。お。ん

あり。清。り。も。あ。り。お。ん

あり。清。り。も。あ。り。お。ん

あり。清。り。も。あ。り。お。ん

あり。清。り。も。あ。り。お。ん

乃協のうらなり

友枝が 二里

か百七又 同や

う七又 ちんちん

人六又 ちんちん

下りか百七又ハ下又

○田中ノ大子所中

たふりい海にる場

莫濃繩よりし。右

乃十四五所に多り

あつらへる瀬川が

のうし。南あつら

まうらふ。水の上。六

ちんちん村に於て

○喜橋瀬産茶や

せこの深のくは乃

名物し。三つや。三つ

や。や川を。磯

○乃後村。かうりや村

鴨田が 一里

か百廿又 同や

う七又 ちんちん

人六又 ちんちん

乃協のうらなり

友枝が 二里

か百七又 同や

う七又 ちんちん

人六又 ちんちん

下りか百七又ハ下又

○田中ノ大子所中

たふりい海にる場

莫濃繩よりし。右

乃十四五所に多り

あつらへる瀬川が

のうし。南あつら

まうらふ。水の上。六

ちんちん村に於て

○喜橋瀬産茶や

せこの深のくは乃

名物し。三つや。三つ

や。や川を。磯

○乃後村。かうりや村

鴨田が 一里

か百廿又 同や

う七又 ちんちん

人六又 ちんちん



舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

舟のりて
舟のりて

くすゆめのこを突

日坂 一里半

かろ川へ十二町

かひま又 同や

くすま又 同や

人甲又 同や

下りかひま又 同や

○みのま茶やあ。こ

村義田のい幡社

百石たよいてうれ本

ありあのきこすめが田

西所 同や

乃物とまよいこ

よめわさうれ何

あうしめあうれ

こ二及の田

ういせしは種

てるし勝とうけい

強く死なう

けりひり 同や

いさうの市

あうしめい

麻とんりう

うてれて

○おれりら

くららふと

○垣井川

○まま村

中物た

乃此

村。お竹村

大井 一里半

かくてん

かひま又 同や

くすま又 同や

○あまの

坂乃

云本

山

こせ川

村。美

云

山中

野

西

乃

大

か

く

七

さ

ま

あ

ま

の

あ

ま

の

あ

道

道

つらつらいさきも十
町4石の方よりあり
山ありて深乃に於て
病氣さう(美令の小
れ)と云けしと有に付
てははあふは病氣
おまうくまいたるは
めりりりりりりりり
。みりりりりりりりり
。んりの坂さりのと
たの態那おんけの社
あり。大くがわさる
。小坂町

見付方
。東よりわろ人い
。まていりりりりりり
とるるるるるるるる
。は西の地より天竺川
。一里ありとあり
。ありあり。十五坂。南
。中川橋。上りあり
。社。明神。社。あり
。小坂。川。橋。あり
。坂。あり。ありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり

ひり。今もつり
信長時代武蔵守
居候。豊田。二
。若者肥田。若者居候
。右。加。若。那。の。地
。大見方
。二里
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり

右田方
。二里
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり

。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり

。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり
。ありありありありあり

塔と云ゆやが母乃石
より湯宮を杖と
いふ様もあ。天のまう
川信別をまれば河の
より湯宮を杖の根と
大天孫を杖の末と
と云ふ御流しと御流
まの又大水よの子あ
乃敷を杖の末の。河
登京の戸のま中
なりとて中の河大云
かやん。わん徳が杖
越の乃の末よ杖。
業所新の河にそり方
。子乃の考居杖と云
おまや。永田右
乃方より河社社
乃二百石社を主藤
乃の乃の杖の末藤
。藤。乃の末藤と云

。極松。天孫河原
乃。まごめは。杖
三十三号松の乃
黄松分二り
すの杖へ。二丁
本百石杖。乃
う七十九。杖乃
人六十五。杖乃
乃。乃の乃の乃の乃
御流しと云ゆやが母乃石
松平伊弉册乃乃乃七
乃石。乃乃乃乃乃乃
乃の社乃。乃乃乃乃
乃乃乃乃。乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

道と云ゆやが母乃石
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

新坂方 海三里
あついで 海三里
新坂 同 徳久

○おろり切の面いさま
ありい百四十又のう右
いさり月人取波背
一強地地い九又のう
くけい人たふこ人か
尾強紀の風流の被
面世又こ昼七海こて
いみせきだ。い海て今
切と云むいいいお
ふよりけだててんか
地なりし二百海
おの意年中大地表
してふの奥か感
まてくわけ出海い
まていんくくか
ありがたりあふり

あついの浪と知らる
海と元祿年中つ
波と海とあけなり
風多く波もよめい
船強なりけに
上よりこの物有れ方の
船と折れとととゆせ
船板の又(す)りか
海甲あつこ小航
そのか波波するこ
新坂方 一里半
あついで 一六所
新七十五又
うみま 同
人廿七又 九又
ナリか七十五又
○舟の系場小舟
開新有女うい子判
せんさくあてり知
池あつとあるり。西

又龍驤乃ちふつ海
乃有。各勢龍也
うねり人ニリたの方
小尾別小牧ふりあり
い雨の大川と雲う系
合戦の河輝政人
ねはりさる雨と云ふ
も。新加地村

加地 一里半
がうい人
ふらま 同
う四十五又 法
○あの方小海の城
あ若射るちあの方
ふる。若乃ゆい
三雨の。宿のせ
れ。因懐ふと去
城ふえあ方候
あ城のるういあ
ゆりあ

あ今中細長
亭も折(さ)の
まのあつ
まはあつ
若はあつ
あああ
乃のあ
溪村。河は川
川上いあ川河
かうい河下
波川。折えい
乃ああ
後いあ
ああ
郷方 一里六所
ああ
あ四十又 同
う廿七又 久
加地 一里六所

この邊の方小湊
名の橋乃砂の河
方と松山あり

出たりと正村羽片
高所ふつとふれり
ありと如くある橋と
月とありとれ

長昌
橋みして神のいふ
橋人や橋乃砂と
ありとありと

徳会を春
そこの橋乃砂と
ありとありとありと
ありとありとありと

○高所ふつとふれり
ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

白波橋 二り
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

○いぢり下の海を
ありとありとありと
ありとありとありと

大湊水乃砂ありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

ありとありとありと
ありとありとありと
ありとありとありと

二河 一里半
吾田 一里

かして又 同や
うり半又 又
人三十五 又

ありかして又 同や
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

いり半又 又
いり半又 又

甲仙道本常路乃
別乃有吾田井乃
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

吾田大坂乃あり
吾田大坂乃あり

伊豆川 十石

水六丁又 四丁
三丁又 五丁又
人十丁又

下りかたさへうす又
竹の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

茶坂 二石

水百丁又 四丁
人十丁又

下りかたさへうす又
松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

えをそりさうり
中村とあるは
ふさくく月
板屋さうり
世不破中実

小塚村ありあり。関
川と云河ありあり
。野村村ありあり
右の方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

川あり。小中村あり
右の方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

今湖 一里

水百丁又 四丁
人十丁又

より松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

水百丁又 四丁
人十丁又

下りかたさへうす又
松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

水百丁又 四丁
人十丁又

より松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

江迄

今湖 一里

より松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

水百丁又 四丁
人十丁又

下りかたさへうす又
松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

水百丁又 四丁
人十丁又

より松の老をそり
たの方より松の男
松をみお城の
いふおれめさ

菟川方一里
おろしきへ七町

本七丁又四町
ろみまま

人三丁又五町
下り本七丁又ろみま

ろんをさ丸村。塚松
坂おろしきへ五里

ゆりあき一里
づりゆあき坂坂

乃四三丁所あり古戦
をくふま坂おろしき

とく勇士のほむ色
あり一町。是乃の

ゆりせんち川。老田
の川。大平川一里

十三丁ありは勇川と
云ありは坂乃のあり

大平村ありあは雨
梨芝多くせが

口を橋あり三丁
あり一町へ一丁

本百丁又五丁
ろり十丁又五丁

人八丁又五丁
下り本百丁又五丁

あり小坂あり
水珍盛物あり六万石

所乃ろれは川
とそ川あり橋のあり

二丁又。矢野乃橋
あり武百八丁あり橋

一丁こみ乃。小坂
をの流乃あり

とくをさむらへ
あられあり

東夷と証あり
ろんをの町あり

とくをさむらへ
ありはあり

腰よりけあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり

ありはあり
ありはあり



江上

第や木端のり
しきゆりこと湯
り。乃のちり沈
朝辨大明神の社あり

鳴海古一里
やへ六町

かふち又四町
うら又源うら
人二千又七町

下りかふち又四町
甲子一あり

心三候季候
風使のこまじい候の

こまじい候の
まじい候の

鳴海くさ沙平浦
やあつとんとろく
乃新り人とは

田島橋をササる
天鼓の文あり

○愛ちのえんが
二十二年の
寺号の
いんがの
場なりか
水たの乃木像
おま愛ちと

形もりこと
とを村の
かごの城あり
ゆる乃三り
右の方
坂あり

くれゆり
のりて
あがりい
て目
新と

新と
つあ
なり

つあ
なり

なり

なり

なり

なり

伝長公の
源を
新所
西し。四十九院
相村。他石村。梅多
村。七柳村

○うそ川は
あし智川
やへ六町

かふち又四町
うら又源うら
人二千又七町

下りかふち又四町
甲子一あり

心三候季候
風使のこまじい候の

こまじい候の
まじい候の

鳴海くさ沙平浦
やあつとんとろく
乃新り人とは

田島橋をササる
天鼓の文あり

○愛ちのえんが
二十二年の
寺号の
いんがの
場なりか
水たの乃木像
おま愛ちと

形もりこと
とを村の
かごの城あり
ゆる乃三り
右の方
坂あり

くれゆり
のりて
あがりい
て目
新と

新と
つあ
なり

つあ
なり

なり

なり

なり

なり

何人の塚や云々
数々あり
何人か云々
丸乃云々

宮古 七里

何の合三千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

何の合二千五百六

何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

村の懐山と云あり
織田信長公城瑞海
山の方。八幡村
。浮田村。舟本村
。本の方。馬淵村
。砂川うちへり。理
る村。工を開村川
あり。星宿の山家
。有。星宿川大河
あり。お岡村
。鏡山

大谷原村。左の標
村川あり。甲山。は所
村。右の方。おひら
。山。お小坂。おやま。
。安村川うちへり
。おあま。おあま。お
。おあま。おあま。お
。おあま。おあま。お
。おあま。おあま。お
。おあま。おあま。お

守山 一里

何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六
何の合二千五百六

中とてこれとも風を
あつて三河を流す
傍や一里ありて
傍をとり乃乃
こや二り字百七
まんで一り字九十七
かろう一り七丁七
さる三り川舟ラ
くまへ 二り八
〇大黒社の大あく
大己貴も也信天
乃んくまへわ海
つさか所標する
七里のまへ入海
一本勇川流合
尾張と信濃の境
海中川より三
よりて河津牛
まこの方の分
と云神々の方

堂。二河村。瀬戸村
〇八河村。あつて天
社あるの名病
村より三り
〇豊川村は川
〇淡川村。高
ちる春自太
〇東海道の
乃てあり
おの東海
草津

草津 二河村
大津 二河村

本宿路の記終
本宿路の記終
本宿路の記終

に近

いれ方のうら
福のま。白毫三途川の本
りあやへつれ乃乃。あつて大
方小者居ありは社
乃まの目
あり大
三種の
田と
日
命
け
り
尾
こと
うけ
焼
号

福のま。白毫三途川の本
りあやへつれ乃乃。あつて大
方小者居ありは社
乃まの目
あり大
三種の
田と
日
命
け
り
尾
こと
うけ
焼
号

くまがた 三重峠 百五十支 孫右衛門
 四日市 九十五支 関 以右

○宮の舟のりけいなるものありたり所
 小舟の目付火とりのとるに陸の名物と
 今た知る二文の酒の魚とを貝命をわらふの
 とよむるもの此玉のふれとや先なるもの
 九の方の城を所領して大子の橋たに有
 城主松平下徳吉十万石。や。所。大福相。
 安中村。町や川古区。百六十石。あ。と。む。る。
 ち。ふ。多。村。は。色。も。中。に。給。有。ひ。き。村。知。り
 海古橋又十一石。松村。こ。こ。こ。村。茶。や。む
 抄。あ。村。川。有。う。ち。渡。り。も。う。村。八。十。八。石
 ○ま。や。り。は。村。七。石。や。何。ら。う。河。古。橋。又。十
 九。石。か。ら。う。冊。今。ま。ら。四。日。市。川。古。区
 三十三石。ま。ら。乃。ち。ま。ら。と。ゆ。ま

四日市 二里半 百廿支 庄左
 不申 八十五支 関 小左
 下り百廿支 八十五支 六十五支
 ○町々十十種なるや、赤坂の末へ江上十里

○渡田村。若んせう。赤坂村入口の森の中不
 祇の文あり。うはけ川にまら。日永の
 てんく。松を松林の中祇明乃文あり。
 と。毎。り。村。記。別。紙。し。過。分。系。な。あり
 九。に。本。祇。宮。余。文。乃。あ。り。不。記。ス

四日市	二里半	百廿支	庄左
赤坂	一里半	百廿支	関
白子	一里半	百廿支	庄左
松野	二里	百廿支	関
浮	二里	百廿支	庄左
雲浮	二里	百廿支	関
松坂	四里	百廿支	庄左
小細	一里	百廿支	関
小田	一里	百廿支	庄左

○あ。そ。村。小。や。ら。う。め。川。板。橋。又。十。五。石。
 田。中。村。う。新。村。う。さ。う。れ。坂。中。ん。ら。う。あり

○清水右村。大谷系や右より下り坂あり

○赤茶師台 廿二里 二丁又 赤茶系

廿二のへ 廿二里 廿二又 同や 赤茶系

下り廿二又廿二又 十丁又 赤茶系

赤茶師台あり。坂下赤茶師堂あり。寺あり

高富山西麓あり。赤茶師八人。山室四十

二代又。武天。室乃。赤茶。大徳。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶。赤茶

○は下せしのでりたてりたるの如く
とるも若くはしめのおさるの雲みの
ふり乃閑いせのまがりたてりて三浦也
と其界より東に開きと云。いはるふ坂
多し。乃例に北を穿るは其の地有
像とて其の地さうとて名も一帯其の
阿波神乃一体遊りてゆくのよの用
願てれりては一体ぢさうか向ひちり
いこゝちくいのまご世におどろくは世ま
目ありしめぢさうとて人まはるるふづんせ
あけく遊りあふ里人たさかへりて又外
乃神をぬのて神祇をたてて地をた
りてかし里人まどろはさるるはけり
いふ後乃のいげんをよりあひし小豆智の
傍の神祇をたてりてあうたりとてな
やられたり里人たてりてあう一体と遊りて
かかへて遊りてあうとていふよりゆり
りいあうぬをあんとしてとて里人下流
し是を北さうのありふりてとてあか
里人のありしめぢさうとて人まはるるふづんせ

○是より大坂へうとて越えて四りきま
あまふれし。いはるるまごころ。ゆゑなれ
小豆智大和のうとて乃有。亦神也村。此
乃坂右ふをたてりてあうの末村甲名
あや有。かあし神をこし茶やあ。くら
うの村あや有。時充。神あ相し神先ハ四季
とてまごころ。ゆけちさう村。坂あり

坂の下。二里半。二百廿五
下り百廿五又百廿五。百廿五

○右の地は小橋ニツま。所より坂とてあふ
たの方。乃例に川とてい川いあ。いああ
那とあかてりし坂ハ十津川と云
乃例に川ハ十津乃流る命とて云。神高屋

○元坂村あやの教有。まごころ坂ハ所け
りて坂也。乃例に神の社とていああ
は乃神ハ天女天宮大坂のまごころたうい
たてて遊りしめぢさうとて人まはるるふづんせ

道
四十三

青甲斐の大黒子の... 若甲斐の... 大黒子の... 泉村... 田川村...

石部 三田 百四十文 八十九文...

あり。高野村... 本条... 村者...

あり。其... 女の... てる... 川... 谷村...

茶部 三田 百四十文 八十九文...

あり。常... やぐ... 石... 池... 勢田...

大橋九十六号小橋二十六号あり橋を長橋
 ともいふなり又とて大橋を長橋とすあり
 橋造の龍林の社儀者考考乃社あり橋
 の下井井 きの田中乃あきく河入るも
 高橋あり是より字流へ流は流をいづく
 川のそけい河の正津川十三川大坂河川
 小川の河川ありあり半里好ありるる
 小伏河の流ありありて海へ入るあり
 ありとていふありありありありありあり
 うの流ありありありありありありあり
 つの流ありありありありありありあり
 比この流ありありありありありありあり
 乃流ありありありありありありありあり
 九くありありありありありありありあり
 よくありありありありありありありあり
 とありありありありありありありあり
 乃流ありありありありありありありあり
 村流ありありありありありありありあり
 皆中流ありありありありありありありあり
 魚ありありありありありありありあり

本多正徳公六万石。膳所松平清兵衛公
 一所はまきとて別あり。中老村。
 膳所松平公の流は流ありありありありあり
 文の流ありありありありありありありあり
 其の流ありありありありありありありあり
 義仲乃流ありありありありありありありあり
 今義仲寺ありありありありありありありあり
 てありありありありありありありありあり
 日下流ありありありありありありありあり
 乃上の流ありありありありありありありあり

大津 石 百五十石
京 石 百五十石
 下り石 百五十石
 大津町 九十八町あり人衆四百餘人あり。
 此の石ありありありありありありありあり
 明神松林の流ありありありありありありあり
 岡の流ありありありありありありありあり
 ありありありありありありありありあり
 のありありありありありありありありあり
 川ありありありありありありありありあり

則七時... 西下... 西... 西...

西時... 西... 西... 西...

三條
大橋



園ちあり... 園乃小川... 園乃小川... 園乃小川...

園乃小川... 園乃小川... 園乃小川... 園乃小川...

園乃小川... 園乃小川... 園乃小川... 園乃小川...

園乃小川... 園乃小川... 園乃小川... 園乃小川...

園乃小川... 園乃小川... 園乃小川... 園乃小川...

院門跡あり四方山と云將軍塚ありなり
いつと右の方より南禪寺黒谷山妙覺堂
若田白川乃方よりゆき道あり。白川橋
北川の白川よりゆき出づる也橋より南の方
ゆきつるに知恩院と云る清水ありありと
日阿茶乃方より富乃中法梅の文社あり。知
恩院の法橋と人化化し給ふ寺と云山光
大師と云し御寺四ノのちと云る也
名所後「真菖菴」の今と云る乃のりなりと
つ。こころと云。二条乃より如茂河の流
なり東に法橋と云る中初為軍墓あり
同新瑞雲寺と云白秀次乃石塔ありはし
二条河城と云十又河橋と云る若神河京下
賀茂乃河五條乃橋祇園法ありなり
乃珍大佛今と云る神ありなりなり
ゆり。三條大橋と云る橋あり旅人の中あり
池邊り西より川まで三條ありと云る又
又此橋のふり目石あり。藝形寺あり
乃角京初師九河豊橋小橋のありと云る也

諸國道中獨案心

日光乃中子信海

奥羽の道

外板橋王子通りあり

日本橋二リ九十五

一日女橋 二リ

千住七八十五

一草加 一リ世

一草加 一リ世

一あがえ 二リ世

一あがえ 二リ世

一くさるべ 一リ世

一くさるべ 一リ世

一松戸 一リ世

一松戸 一リ世

一孝子 二リ世

一孝子 二リ世

一々々 二リ

一松戸 一リ世

一中田 一リ世

一松戸 一リ世

一若河 二リ

一松戸 一リ世

一若田 二リ

一松戸 一リ世

一小山 一リ世

一松戸 一リ世

一小山 一リ世

一松戸 一リ世

日本橋二日光三十二里余

一 名はし	一 二里
一 名乃文	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里

常別水方の町

一 日本橋	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里

日本橋三日光三十九里

一 日本橋	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里
一 名乃宮	一 二里

江戸目かき一里
虎嶋とこららの
二十六里

四里

甲別道中記

新 宿土系沼乃秘
甲別 勢地乃形勢

日吉村 三里

下吉野村 百五十五
千之尾 百五
人員 七十五

四ツ首天本寺とて
新道の末に遊分
あるとくはゆい杖
及乃と甲別へたへ
ゆい杖のり次と
上十百下十百と
ありとてその場
下吉野村と吉野寺
又赤井と下二所
は乃と形勢と

又石原も上二所
ありとて上吉野
又ハナありとて
る次りなりと

下吉野村 二所
布田 二所
七十五又五十五
四十五

布田 一十九所
中 一
七十五又 四十五
三十五

府中 二所
日吉 二所
九十五又 六十五
四十五
は乃川とた川と
りふ赤波とて赤ん
あるとてハナと水
ありハナと

相野 一
分 一
七十五又 五十五
四十五

- 一 かつら 一里 四十五
- 一 かつら 一里 六十五
- 一 かつら 一里 七十五
- 一 かつら 一里 八十五
- 一 かつら 一里 九十五
- 一 かつら 一里 十
- 一 かつら 一里 十一
- 一 かつら 一里 十二
- 一 かつら 一里 十三
- 一 かつら 一里 十四
- 一 かつら 一里 十五
- 一 かつら 一里 十六
- 一 かつら 一里 十七
- 一 かつら 一里 十八
- 一 かつら 一里 十九
- 一 かつら 一里 二十
- 一 かつら 一里 二十一
- 一 かつら 一里 二十二
- 一 かつら 一里 二十三
- 一 かつら 一里 二十四
- 一 かつら 一里 二十五
- 一 かつら 一里 二十六
- 一 かつら 一里 二十七
- 一 かつら 一里 二十八
- 一 かつら 一里 二十九
- 一 かつら 一里 三十
- 一 かつら 一里 三十一
- 一 かつら 一里 三十二
- 一 かつら 一里 三十三
- 一 かつら 一里 三十四
- 一 かつら 一里 三十五
- 一 かつら 一里 三十六
- 一 かつら 一里 三十七
- 一 かつら 一里 三十八
- 一 かつら 一里 三十九
- 一 かつら 一里 四十
- 一 かつら 一里 四十一
- 一 かつら 一里 四十二
- 一 かつら 一里 四十三
- 一 かつら 一里 四十四
- 一 かつら 一里 四十五
- 一 かつら 一里 四十六
- 一 かつら 一里 四十七
- 一 かつら 一里 四十八
- 一 かつら 一里 四十九
- 一 かつら 一里 五十

- 一 かつら 一里 四十五
- 一 かつら 一里 六十五
- 一 かつら 一里 七十五
- 一 かつら 一里 八十五
- 一 かつら 一里 九十五
- 一 かつら 一里 十
- 一 かつら 一里 十一
- 一 かつら 一里 十二
- 一 かつら 一里 十三
- 一 かつら 一里 十四
- 一 かつら 一里 十五
- 一 かつら 一里 十六
- 一 かつら 一里 十七
- 一 かつら 一里 十八
- 一 かつら 一里 十九
- 一 かつら 一里 二十
- 一 かつら 一里 二十一
- 一 かつら 一里 二十二
- 一 かつら 一里 二十三
- 一 かつら 一里 二十四
- 一 かつら 一里 二十五
- 一 かつら 一里 二十六
- 一 かつら 一里 二十七
- 一 かつら 一里 二十八
- 一 かつら 一里 二十九
- 一 かつら 一里 三十
- 一 かつら 一里 三十一
- 一 かつら 一里 三十二
- 一 かつら 一里 三十三
- 一 かつら 一里 三十四
- 一 かつら 一里 三十五
- 一 かつら 一里 三十六
- 一 かつら 一里 三十七
- 一 かつら 一里 三十八
- 一 かつら 一里 三十九
- 一 かつら 一里 四十
- 一 かつら 一里 四十一
- 一 かつら 一里 四十二
- 一 かつら 一里 四十三
- 一 かつら 一里 四十四
- 一 かつら 一里 四十五
- 一 かつら 一里 四十六
- 一 かつら 一里 四十七
- 一 かつら 一里 四十八
- 一 かつら 一里 四十九
- 一 かつら 一里 五十

高川 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

一 仙臺 二川 六十七

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

大月 一六所

富田山(道知也)
但甲有之乃大月分

加別金以道中

信及道分といふ本
乃申ふあつた人略之

一石(名三) 百廿五文

一小のち三 九十七文

一回中三 六十九文

一上田三 百廿九文

一さう三 百廿九文

けろしち并ヤク
二番有たの方

一やろ三 百廿九文

一冊を三 百廿九文

一宮を三 百廿九文

一あを三 百廿九文

大月分 二リ

はる田の露(日市)

場沙(道知)のち

大月(名三)のち

矢村(名三)のち

やむ(名三)のち

れ乃(名三)のち

上(名三)のち

下(名三)のち

下(名三)のち

白(名三)のち

白(名三)のち

白(名三)のち

白(名三)のち

黒(名三)のち

黒(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

猪(名三)のち

信及道分といふ本
乃申ふあつた人略之

一石(名三) 百廿五文

一小のち三 九十七文

一回中三 六十九文

一上田三 百廿九文

一さう三 百廿九文

けろしち并ヤク
二番有たの方

一やろ三 百廿九文

一冊を三 百廿九文

一宮を三 百廿九文

一あを三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

一しち三 百廿九文

七十二又四十八
卅六又

石和
舟延(舟延)

石和
下舟へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

舟延(舟延)
舟延へ 入り

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一あらし 九十七又
六十七又

一 ちりりせ三里

一 いちね 三里

一 平針 二里

一 宮

尾列 越前福井道

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 ちりりあま 二里

一 今井 三十三里

一 月経 二十里

一 今井 十三里

一 作又 十三里

一 大聖寺

一 富山 三十三里

一 中田 世商 七里

一 今井 十三里

一 川中 十三里

一 川中 十三里

一 川中 十三里

一 川中 十三里

大津分大坂道

大津四ノ八所

西ノ五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

名存五里

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

津

十八丁右のふざき入

西長村十八所

十又所。あうのそり

東入口の川新後に

河内山城のさういし

かきつう子 三六所

○其の多や。うんごん

北下分ち秋のさき

出取うそ人足とさぐ

あまのう村川赤尾

○よぐさあれと一り字

う孫 三三所

○ひのこ。上流。下流

北八所

○さうの川。今や茶や

はるり十所やうて

物方 大坂、又里

又丁松坂又十所後

○松がまか。さち。さま

りてあ。ぐま。所屋

○一裏村。うら。つら。お

か。ハ。り。坂。有。津。上

口はあうそ人足とさぐ

より。は。び。ん。れ。塚。有

は村の子まうのまの

三石 片上 三三所

さうへ。堀乃ゆ。ゆ代

はるり十所やうて

○あご。東。一

やま。又。丁。松。坂。中。村

紀別あひ乃中 大坂

片上 四二所

大坂二り堀一り

坂井 三三所

石津三り岩田

岡山 板倉 三三所

法城あて城まうまう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

まう。まう。まう。まう

はるり十所やうて

大坂 三三所

中ッロ 中備 三三所

道

道

下り三ツりびざり

上流いり川三ツり

上流いり川三ツり

なまごみ十所いり川

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺

三ツり園寺 三ツり園寺 三ツり園寺

みどり川を市に

あひねりあり

くさね川あり大坂

いせ川あり

大坂あり

大坂あり

大坂あり

大坂あり

大坂あり

大坂あり

大坂あり

大坂あり

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

大坂長瀬

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

あいのりて

新 中けへ あり

ゆけ 三三三三 十リ

三たふ ありあり

あさうり 三三三 十リ

はま 三三三 十リ

うむろ 上の段 七リ

よの岡 三三三 十リ

ひろ子 ありあり

かごご 三三三 十リ

ひらう 新ありあり

新ありあり 下の段 十三リ

下の岡 三三三 十リ

大なる方 ありあり

小倉 ありあり

あくら ありあり

福屋 ありあり

小くら ありあり

あさうり ありあり

本やね ありあり

川一 ありあり

上系 ありあり

赤る ありあり

あせ所 ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

このら ありあり

あさうり ありあり

文市 ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

あさうり ありあり

道 中津城 奥平 大層 大丈 十 百 五

五十九

あさうり ありあり

青柳 三ノ九寺

第法 廿二冊

博多 一ノ

比呂河津 廿二冊

黒法 廿二冊

あやせ 廿二冊

つぼ 廿二冊

柳川 廿二冊

心野 廿二冊

山上 廿二冊

原田 廿二冊

田代 廿二冊

下の原 廿二冊

海老原 廿二冊

かき 廿二冊

なま 廿二冊

いす 廿二冊

はら 廿二冊

博多 廿二冊

坂 廿二冊

博多 廿二冊

下 廿二冊

方 廿二冊

も 廿二冊

小倉 廿二冊

道多 廿二冊

ひら 廿二冊

小 廿二冊

黒法 廿二冊

あやせ 廿二冊

飯塚 廿二冊

心野 廿二冊

山上 廿二冊

原田 廿二冊

田代 廿二冊

物 廿二冊

八所 廿二冊

小 廿二冊

比 廿二冊

海老原 廿二冊

さ 廿二冊

河 廿二冊

比 廿二冊

い 廿二冊

比 廿二冊

大 廿二冊

比 廿二冊

比 廿二冊

とこお酒乃なり

小倉 藤原 藤原 乃

小倉 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

はる二リ十の所へ上

坂一リへ下り坂あり

ハ下津とや山小

南小海えゆ

秋月 乃 乃 乃

はる小川二所あり

物小川流あり

後の乃あり

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃

此の道は丹波州の道なり

日向	白田	みね	横井	大坂	大坂中	下小大坂	小くう	又み
二里	二里	二里七所	二里	二里	二里	二里	二里	二里
牛津	小田	小田	小田	小田	小田	小田	小田	小田

日向 二里
 白田 二里
 みね 二里七所
 横井 二里
 大坂 二里
 大坂中 二里
 下小大坂 二里
 小くう 二里
 又み 二里
 大坂 二里
 大坂中 二里
 下小大坂 二里
 小くう 二里
 又み 二里

日向 二里
 白田 二里
 みね 二里七所
 横井 二里
 大坂 二里
 大坂中 二里
 下小大坂 二里
 小くう 二里
 又み 二里
 大坂 二里
 大坂中 二里
 下小大坂 二里
 小くう 二里
 又み 二里

流後柳川	一柳川	一保甲	一英上	一日又	大坂	南	大坂	大坂
二里	二里	二里	二里	二里	二里	二里	二里	二里
大坂	大坂	大坂	大坂	大坂	大坂	大坂	大坂	大坂

流後柳川 二里
 一柳川 二里
 一保甲 二里
 一英上 二里
 一日又 二里
 大坂 二里
 南 二里
 大坂 二里
 大坂 二里

流後柳川 二里
 一柳川 二里
 一保甲 二里
 一英上 二里
 一日又 二里
 大坂 二里
 南 二里
 大坂 二里
 大坂 二里

平野、二里

七十の文、十の文、世の文

舟舟、四里

舟舟、二里

百八十八の文、百九十九の文

尾崎、三里

百八十八の文、百七十七の文

金、新橋、四里

江戸、分、新橋、新橋

江戸、分、新橋、新橋

若西、松戸、寺堂

松戸、小金、寺堂

小金、あび、寺堂

矢上、日見、一里

日見、一里

日見、一里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

長崎、二里

あひ、二里

茶原、寺堂

有川、下り、新橋

廣崎、寺堂

豊橋、寺堂

金ヶ井、寺堂

白井、寺堂

大森、寺堂

本郷、寺堂

右諸國道中北の江戸後身

相模、寺堂

三十九年一月二十九日

延喜四年

正月吉辰

芝神明

奥村嘉兵衛

江都日本橋通三里目

版

